

# トラック運送業界を取り巻く環境変化と予想される動き

LEAD THE VALUE

2017年9月

株式会社 三井住友銀行  
コーポレート・アドバイザー本部  
企業調査部

- 本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。
- 本資料は、作成日時点で弊行が一般に信頼できると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を弊行で保証する性格のものではありません。また、本資料の情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。
- ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いくださいますようお願い致します。本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じております。

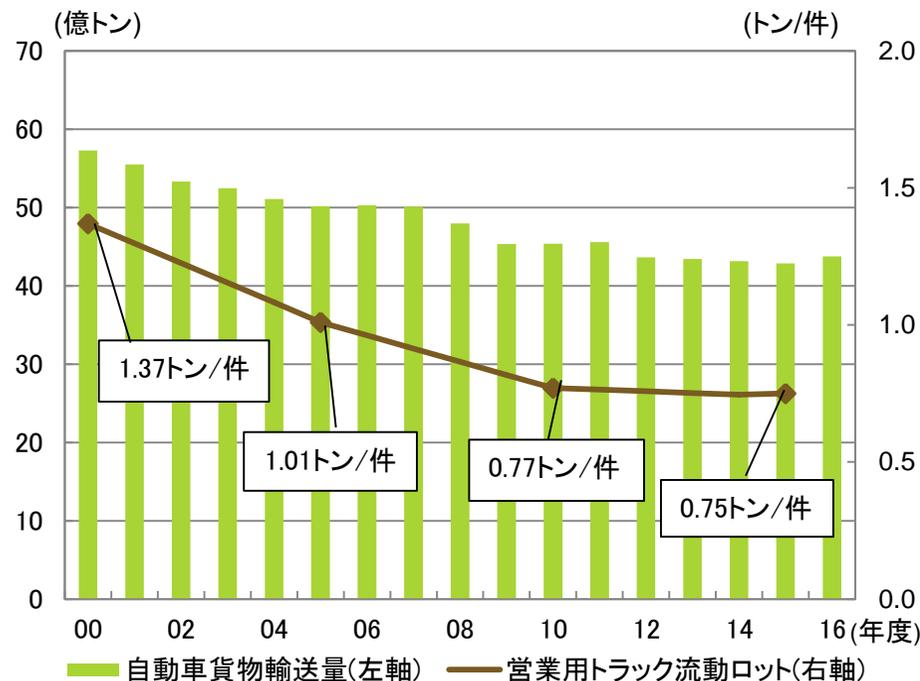


三井住友銀行

# トラック運送業界を取り巻く環境変化～小口化・多頻度化

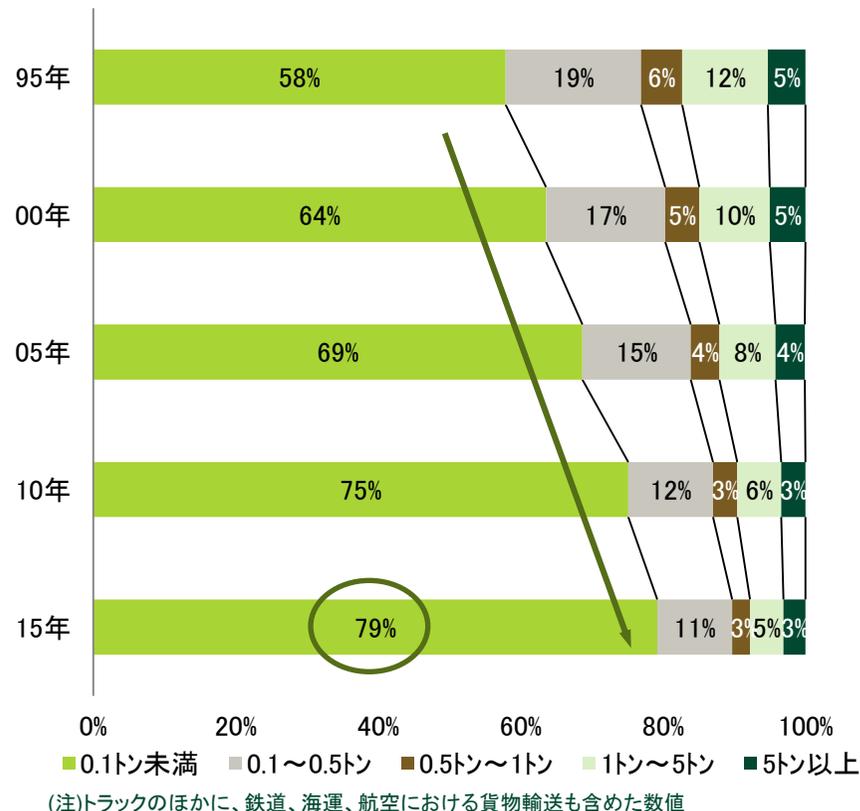
長らく減少傾向を辿ってきた国内自動車貨物輸送量は、Eコマースの拡大等からここ数年は下げ止まりつつあります。もっとも、同時に貨物輸送の小口化・多頻度化が進展しており、トラック運送業者にとっては効率性低下、負担増加に繋がっています。

自動車貨物輸送量と流動ロット(出荷1件あたりの貨物量)の推移



(出所): 国土交通省資料を基に弊社作成

流動ロット構成比の推移



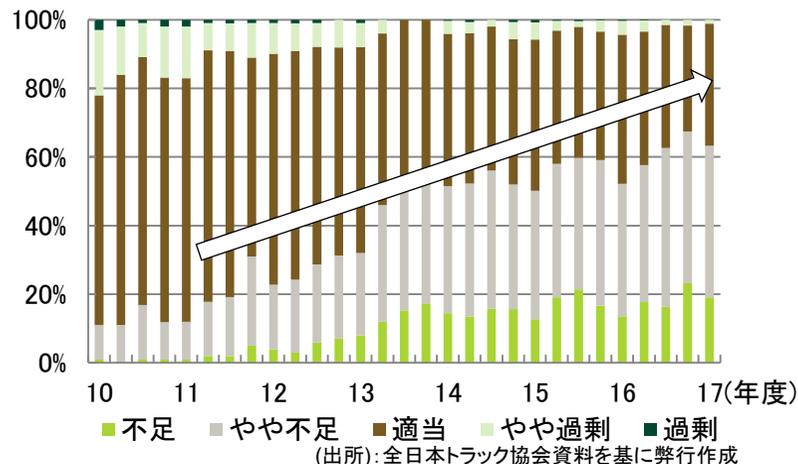
(注)トラックのほかに、鉄道、海運、航空における貨物輸送も含めた数値

(出所): 国土交通省資料を基に弊社作成

# トラック運送業界を取り巻く環境変化～人手不足

トラック運送業は低賃金・長時間労働の傾向にあることなどから若年入職者が減少しているほか、これに伴い就業者の高齢化も進展しており、ドライバー不足が年々深刻化しています。

## トラック運送業者の労働力の過不足感



## 所得額と労働時間の比較

所得: 大型トラックで全産業対比▲約1割、中小型トラックで同▲約2割低い  
労働時間: 大型・中小型トラックともに同+約2割長い

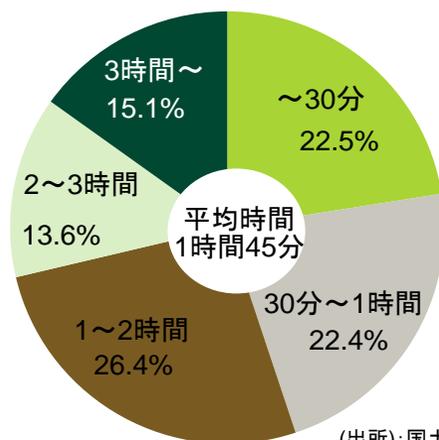
	所得額	労働時間
全産業	490万円	2,124時間
営業用貨物自動車運転者(大型)	447万円	2,604時間
営業用貨物自動車運転者(中小型)	399万円	2,484時間

(出所): 厚生労働省資料を基に弊社作成

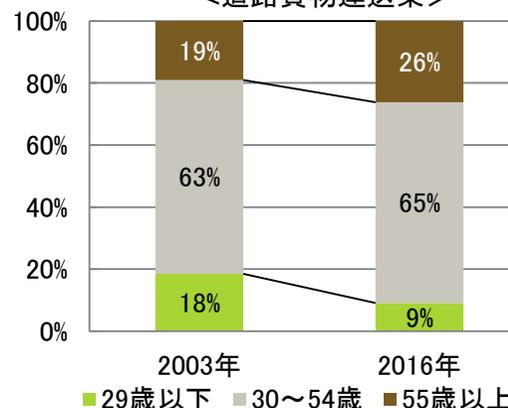
## 就業者の年齢構成

## 1運行あたりの手待ち時間の発生状況

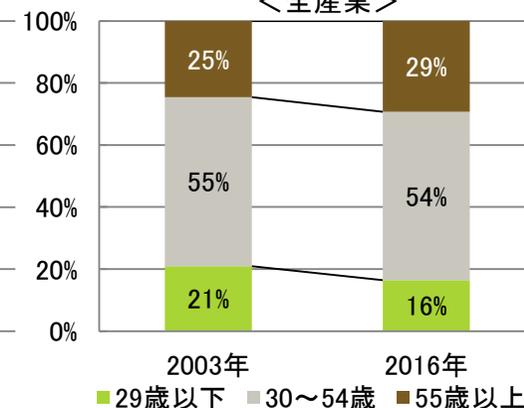
荷主先での手待ち時間が長いことも労働時間長期化の一因



## <道路貨物運送業>



## <全産業>

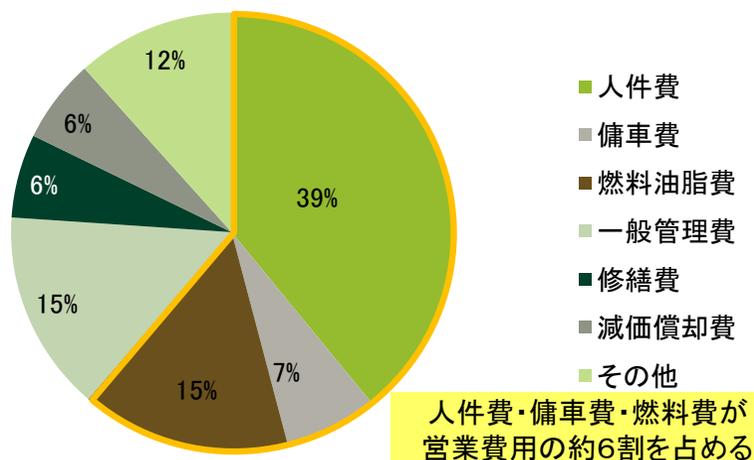


(出所): 総務省資料を基に弊社作成

# トラック運送業界を取り巻く環境変化～コスト構造(人件費・燃料費)

トラック運送業者のコスト構造をみると、人件費及び備車費が46%、燃料費が15%を占めています。14年度以降ドライバー不足を主因に人件費・備車費の上昇が続く中でも、軽油価格が大幅に下落したことで各社の採算は改善基調にありました。もっとも、16年度以降は燃料費も再び上昇に転じていることから、今後の採算悪化が懸念されます。

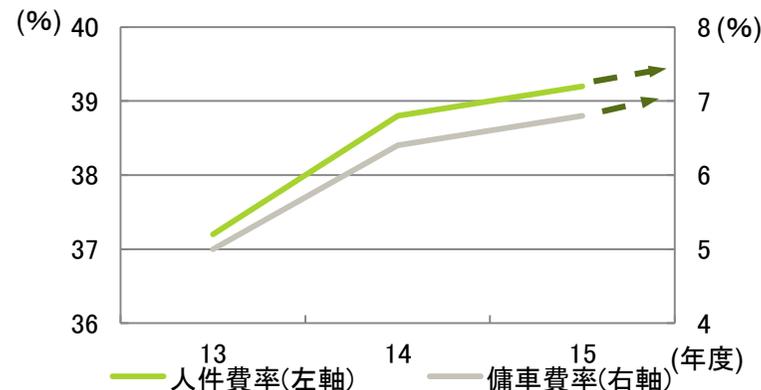
## 営業費用の構成比



(出所): 全日本トラック協会資料を基に弊社作成

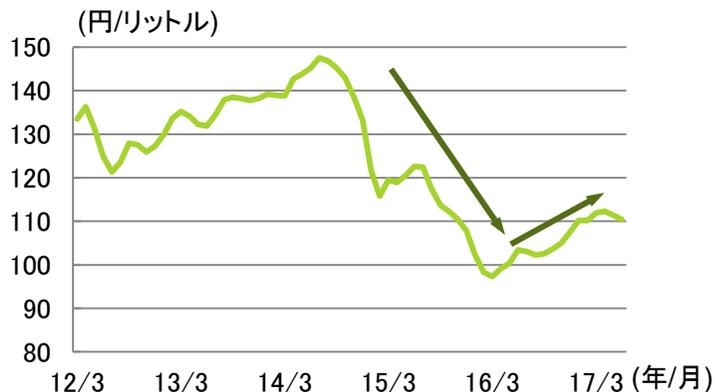
## 人件費率・備車費率の推移

14/4月の消費増税前の駆け込み需要を契機にドライバー不足問題が顕在化し(「物流危機」)、人件費・備車費は上昇に転じている



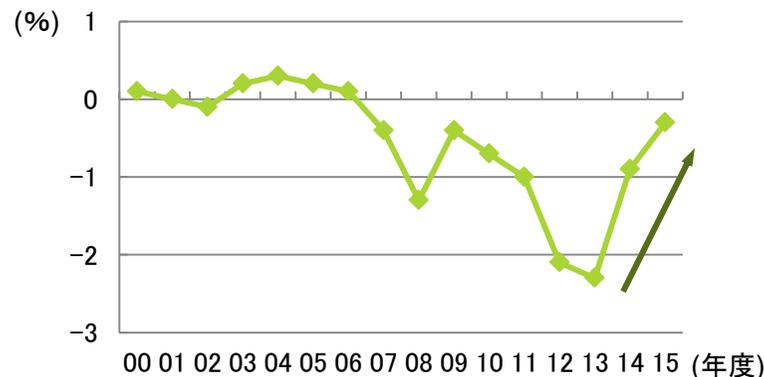
(出所): 全日本トラック協会資料を基に弊社作成

## 軽油価格の推移



(出所): 資源エネルギー庁資料を基に弊社作成

## 営業利益率の推移

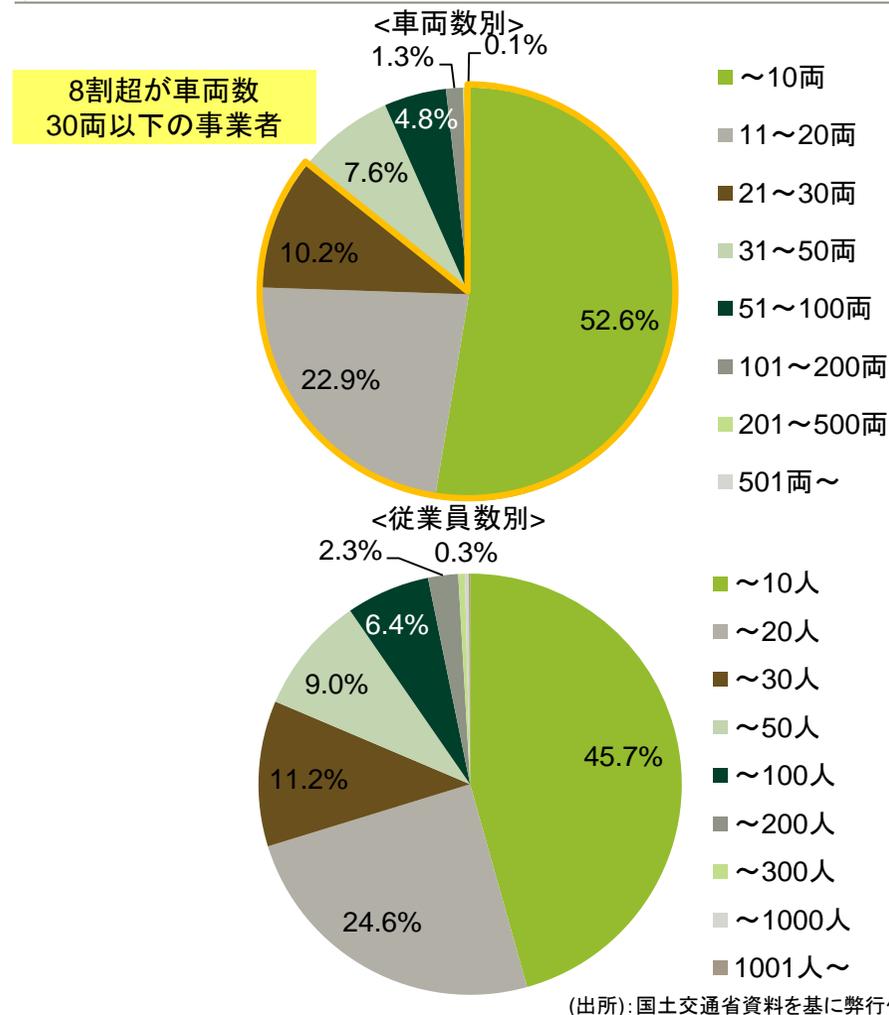


(出所): 全日本トラック協会資料を基に弊社作成

# トラック運送業界を取り巻く環境変化～廃業・集約・再編の増加

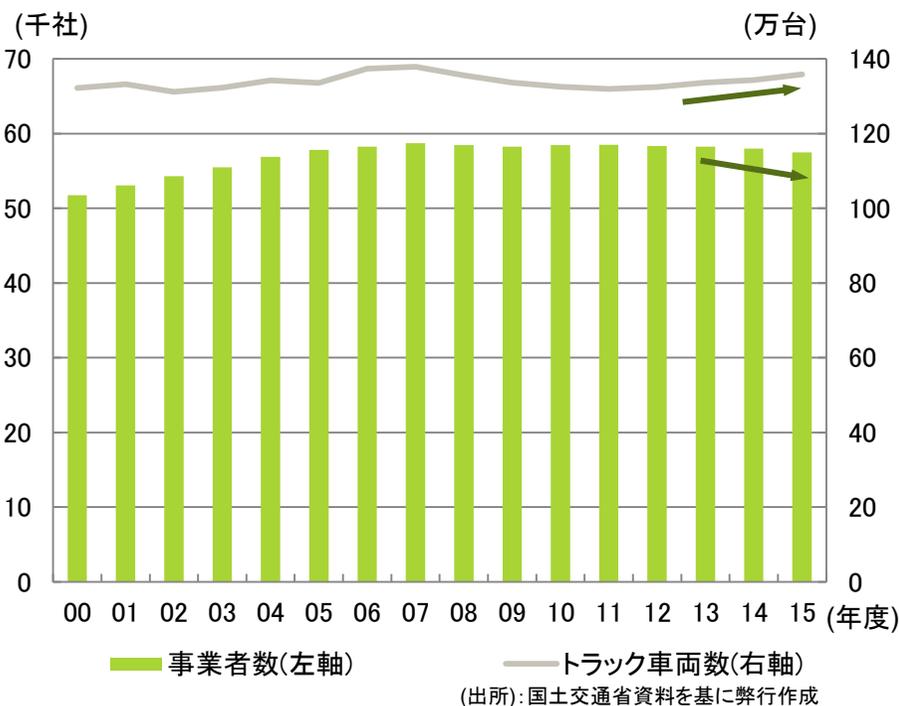
トラック運送業は、車両数30両以下の事業者が8割超を占めています。00年代半ばまでは規制緩和等を背景に事業者数は増加してきたものの、足下では業績悪化や創業者の高齢化等に伴い事業から撤退する先も増加しています。一方で、一部の大手・中堅業者はドライバー不足が深刻化する中で買収や提携によるドライバー確保、外注業務の内製化を図っており、緩やかながら事業者の集約・再編が進んでいます。

一般トラック運送事業者の車両・従業員規模別の構成比(16/3月末)



トラック運送業者数・トラック車両数の推移

足下では事業者数は減少している一方、トラック車両数は増加  
→集約・再編が徐々に進みつつある



# トラック運送業界を取り巻く環境変化～予想される動き

今後、中長期的にはトラック事業者の収益環境悪化が見込まれるほか、荷主サイドも輸送能力の安定的な確保をより重視するようになりつつあります。こうした中、トラック事業者は生き残りに向け、買収・提携による輸送能力拡大やサービスラインナップの拡充等が求められるとみられます。

## トラック運送事業者が取りうる方策

